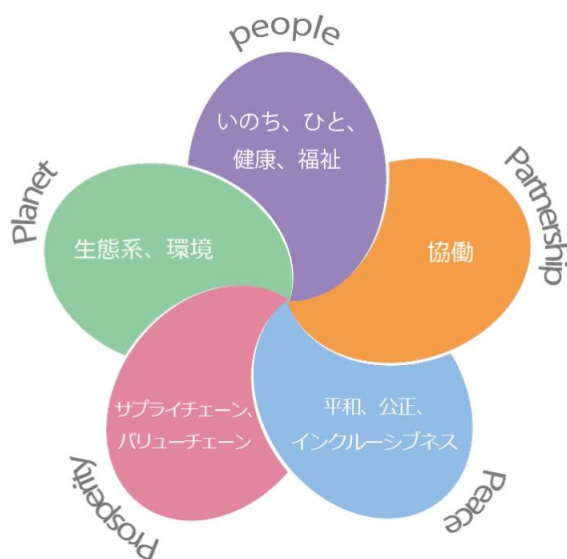




「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた方針」の概要

大阪・関西万博は、その運営においてもSDGs達成を実現するため、環境や社会への影響を適切に管理し、持続可能な万博の運営を目指す。



People (いのち、ひと、健康、福祉)

生態系を構成するすべての「いのち」を守り育てることの大切さを訴求する。

Planet (生態系、環境)

国際的合意（パリ協定、大阪ブルー・オーシャン・ビジョン）の実現に寄与する会場整備・運営を目指す。

Prosperity (サプライチェーン、バリューチェーン)

「もの」だけでなく、「生活」を豊かにし、可能性を広げることにつながる社会や環境に関する知見をレガシーとして、次世代に継承する。

Peace (平和、公正、インクルーシブネス)

多様な人々が積極的に、また安心して参加できる環境を整えるとともに、大阪・関西万博からテーマに基づく多様な考え方を発信できるよう、一人一人を尊重したインクルーシブな万博運営を目指す。

Partnership (協働)

誰もが参加でき、自由にアイデアを交わせる機会を提供する。その中で一人一人がつながりコミュニティが形成されることを目指す。

持続可能性有識者委員会でご議論いただいた持続可能な大阪・関西万博にむけた方針は4月27日に決定、公表した。今後はこれに基づいてマネジメントシステムを構築。

(仮称)持続可能性計画について

マネジメントシステムでは、KPI,目標値を定めてその達成状況、達成方策の立案の進捗状況を検証し、行動計画という形にまとめる。
計画は各年度末に改定。



取り組み設定について（東京2020の例①）



このKPIは、東京2020大会では、

①気候変動、②資源管理、③大気・水・緑・生物多様性等、④人権・労働、公正な事業慣行等、⑤参加・協働、情報発信という柱に基づき、組織委員会の各部局、課室で案を出し、決定し、200近くのKPIを策定。

気候変動 Towards Zero Carbon（脱炭素社会の実現に向けて）

約280,000t-CO2削減 東京2020大会のカーボンフットプリント
様々な取り組みにより再エネ100%を目指す
「水素社会」の実現に向け、水素エネルギーを活用
環境負荷の少ない輸送を追求
市民によるCO2削減・吸収活動をレガシーに

資源管理 Zero Wasting～資源を一切ムダにしない～

大会を象徴する物品に再生材を活用
世界的課題、使い捨てプラスチックを削減
調達物品はリユース・リサイクルを追求
ごみの再資源化 まずは減らす～きちんと分別～しっかりリサイクル

出典：Tokyo 2020 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 持続可能性に配慮した運営計画 第二版から抜粋

取り組み設定について（東京2020の例②）



大気・水・緑・生物多様性等 City within Nature/Nature within the City～自然共生都市の実現～

暑さ対策を推進
大会における水循環への配慮
都市における水環境機能の向上

競技会場等の緑化
花と緑の景観形成
自然環境の再生と生物多様性の確保
生物多様性等に配慮した資源の消費

人権・労働、公正な事業慣行等 Celebrating Diversity～多様性の祝祭～

多様な組織委員会職員
多様な大会スタッフ
大会運営におけるD&I*の実現
人権対応体制
アクセシビリティの確保

参加・協働、情報発信（エンゲージメント） United in Partnership & Equality ～パートナーシップによる大会づくり～

日本全国が参加 都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト
使い捨てプラスチックを再生利用した表彰台プロジェクト～みんなの表彰台プロジェクト～
被災地と世界を結ぶ復興のモニュメント
国際連合との連携 スポーツにできること
様々な主体との連携
次世代への教育と参加機会の創出
持続可能性への理解と行動の促進
大会期間中の情報発信

* ダイバーシティ & インクルージョン

目標設定について（東京2020大会の例①）



東京2020大会では、200の指標のうち重要なもの6つ程度を報告書等では大きく取り上げている。また、指標としなかったものでも進捗のあったものを大きく取り上げて報告している。

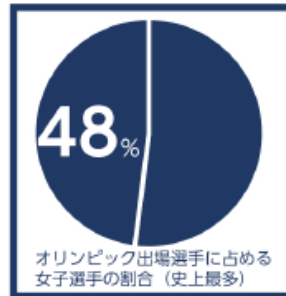
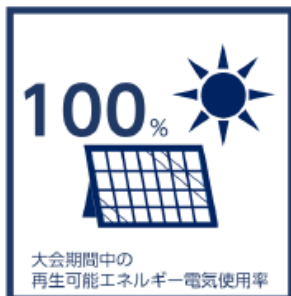
数字で見る東京2020大会の持続可能性



目標設定について（東京2020大会の例②）

1.1 数字で見る東京 2020 大会の持続可能性

Our Achievement



出典：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会持続可能性大会後報告書（2021年12月）より抜粋

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

個別の取り組み、目標については現在協会内で集約作業中

協会内の全部署から、個別の取り組み、目標を集約 ⇒ 8月の委員会で提示

- ①取り組みの番号
- ②EXPO2025グリーンビジョンの該当するカテゴリ
- ③5つのP（People, Planet, Prosperity, Peace, Partnership）のいずれに該当するか
- ④個別の取り組み（タイトル）
- ⑤個別の取り組み（概要）
- ⑥取り組みの具体例
- ⑦部署名
- ⑧主担部署に☆印、関係部署に○印を付して、取り組みと担当部署の関連を整理

計画の目次(案)について（東京2020大会との比較①）



このKPIを柱に個別の施策の進捗を計画としてまとめていく。
毎年記述が拡充されていくものだが、開催2年前の東京2020の運営計画はこのような目次となっていた。

東京2020 持続可能性に配慮した運営計画（第2版）

1. 基本的な考え方

- 1.1 基本理念
- 1.2 持続可能性の主要テーマ
- 1.3 関係組織
- 1.4 運営計画の適用範囲
- 1.5 持続可能な発展の統治原則
- 1.6 マネジメントの仕組み、ツール

2. 主要テーマごとの施策概要

（目標とその達成に向けた施策）

- 2.1 気候変動
- 2.2 資源管理
- 2.3 大気・水・緑・生物多様性等
- 2.4 人権・労働、公正な事業慣行等への配慮
- 2.5 参加・協働、情報発信（エンゲージメント）

出典：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会持続可能性に配慮した運営計画
（第2版）（2018年6月）から抜粋

計画の目次(案)について（東京2020大会との比較②）



東京2020 持続可能性に配慮した運営計画（第2版）

- 3.実施主体別の行動計画・進捗状況
（アクションプラン・プログレスレポート）
 - 3.1 実施主体（FA）別の取組
 - 3.2 会場整備関係の取組
- 4.本計画の実現に向けたマネジメント及びツール
 - 4.1 ISO20121に則した持続可能性マネジメントシステム
 - 4.2 モニタリングの適切な実施
 - 4.3 様々な主体による検討及び進捗管理
 - 4.4 「持続可能性に配慮した調達コード」の策定・運用
 - 4.5 環境アセスメントの実施

出典：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会持続可能性に配慮した運営計画（第2版）（2018年6月）から抜粋

（仮称）持続可能性計画

1. はじめに
 - (1) はじめに
 - (2) 大阪・関西万博における「持続可能性」の概念の重要性について
 - (3) 持続可能性と大阪・関西万博のビジョンとの関わりについて
 - (4) 大阪・関西万博が目指すべき持続可能性の方向について
 - (5) 計画の位置付け
 - (6) 関係組織
 - (7) 万博に関するスケジュール（概要）
2. 大阪・関西万博が取組む持続可能性に関する大目標
 - 2-1. **People**（いのち、ひと、健康、福祉）
 - 2-2. **Planet**（生態系、環境）
 - 2-3. **Prosperity**（サプライチェーン、バリューチェーン）
 - 2-4. **Peace**（平和、公正、インクルーシブネス）
 - 2-5. **Partnership**（協働）
3. 計画の実現及び影響調査に向けたツール
 - (1) イベントの持続可能性マネジメントシステム（**ESMS: Event Sustainability Management Systems**）の導入による適切な万博運営の確保
 - (2) 「持続可能性に配慮した調達コード」の策定・運用
 - (3) 環境アセスメントの実施

(仮称)持続可能性計画 策定スケジュール（案）について

